

ムネカタテック ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスへの取り組み

(ZEH普及実績及び目標公表資料)

2014年4月の閣議決定「エネルギー基本計画」において、「住宅については、2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までに新築住宅の平均で住宅の年間の一次エネルギー消費量が正味(ネット)でゼロとなる住宅(ZEH)の実現を目指す」とする政策目標を制定しました。

弊社では、「平成28年度ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業」が公募するZEHビルダー登録を行い、以下の通り、2020年度までに50%以上となるZEH普及目標を設定しました。

	平成28年度目標	平成29年度目標	平成30年度目標	平成31年度目標	平成32年度目標
ZEH受託率	注文 5%	注文 15%	注文 25%	注文 35%	注文 45%
	建売 5%				
	合計 10%	合計 20%	合計 30%	合計 40%	合計 50%
普及実績	0%	—	—	—	—

【1】ZEHの周知・普及に向けた具体策

チラシ・ホームページ等へ掲載しながら、相談会や見学会を実施し、ZEHへの取組みを理解していただけるよう周知活動を行います。また、光熱費の削減以外にも補助金が利用できる制度を説明し、建物の取得費用が軽減できるメリットも併せて提案していきます。

【2】ZEHのコストダウンに向けた具体策

地域の気候・風土に根差した設計を心掛け、パッシブデザインを活用する事で、設備機器の導入費を抑える事ができます。

ZEHへの標準仕様化に向けた社内研修を行い、構造・断熱施工の合理化、作業効率の向上による工期短縮を目指します。また、取引会社を対象とした研修会を実施し、その基準を周知徹底させる事で計画的なコストダウンを図ります。

【3】その他の取り組みなど

高耐久の耐震住宅「テクノストラクチャー工法」を採用しており、一邸ごとに構造計算を実施し、ZEHとしての資産価値を永く保ちます。

関連団体が主催する省エネ講習会等へ積極的に参加し、最新の情報収集を行うと共に、ZEHについて更なる知識・技術の向上に努めます。